

絆

特集
K·i·z·u·n·a

「神楽」が結ぶ人・地域

国内最大の文化の祭典「国民文化祭」（以下国文祭）。

国民体育大会の文化版といわれる国文祭は今年、静岡県で開かれます。

神楽の祭典「神楽フェスティバル」の会場となっている本町には

10月25、26日の両日、全国から18の神々が舞い降ります。

本号では、「神楽」の世界を通して

人と人、地域と地域とが結び付く「絆」について考えます。

写真大 梅津神楽 須佐之男命の舞
右 徳山神楽 四座の舞
左 田代神楽 狩人

第24回国民文化祭しずおか2009 神楽フェスティバル

- 10月25日 日 午後1時～3時 本川根小特設会場
午後3時30分～夜10時 田代大井神社特設会場
- 10月26日 月 午前9時～午後6時 本川根小特設会場

第24回国民文化祭川根本町実行委員会事務局
(川根本町教育委員会 生涯学習課)
☎ (58) 7080 FAX (59) 4025

神楽フェスティバルとは…

静岡県中部を縦断する大井川・安倍川流域は静岡県の中でも神楽がさかんな地域。この流域の神楽を称して「駿河神楽」と呼んでいます。

大井川のもっとも上流に位置する本町では、梅津神楽、田代神楽、徳山神楽（いずれも県無形民俗文化財指定）など、伝統の神事が絶やすことなく今日まで守られ、受け継がれています。

これら駿河神楽をはじめとして、青森県から熊本県まで全国から18団体（静岡県含む）の神楽が

このほど本町に集い、競演することになりました。全国各地の神楽団体が集い、交流することで、伝統文化の魅力を再確認する機会とします。

そして神楽の輪を大きく広げるとともに、神楽を活かした地域づくりや地域コミュニティのあり方などを考えます。